

新型コロナウイルス感染症は心配…
でも、危険が迫ったときには



まよ ひなん
迷わず避難を！

新型コロナウイルス感染症への不安から、避難をためらったために被害に遭うということは絶対にあってはなりません。

一人ひとりが、いろいろな避難方法や感染症対策を知って、安全・安心な避難のための備えをしましょう！

安全・安心な避難のための3つのポイント

裏面の
フローチャート
で確認

避難所に行くだけが避難じゃない！避難について理解しよう！

- 避難とは『難』を『避ける』こと。安全な場所にいる人まで緊急避難場所（避難所）に行く必要はありません。
- 避難先は、市の指定している施設だけではありません。いろいろな避難方法を検討しましょう。

非常持ち出し品を予め準備しておこう！

下段
チェックリスト
で確認

- 非常持ち出し品をあらかじめ準備しておきましょう。避難所で一晩過ごすために必要なものと量が目安です。
- 必要なものは各世帯で異なりますが、避難時には、通常の非常持ち出し品に加えて、感染症対策に有効な持ち出し品もできる限り持参しましょう。

どこにいても、自分でできる感染症対策を実践しよう！

- 他人と2メートル程度距離をとる、密接した状態での会話を避ける。
- 手洗い消毒やうがい、マスクの着用、咳エチケットの徹底。
- 毎日の体調チェック。



あると便利な非常持ち出し品の例

- 携帯電話 ■モバイルバッテリー ■毛布・タオルケット ■ウエットティッシュ
- 食べ物 ■飲み物 ■着替え ■下着 ■タオル ■携帯トイレ ■ゴミ袋 など

感染症対策に有効な非常持ち出し品の例

- マスク ■アルコール消毒液 ■体温計 ■除菌シート ■使い捨てのビニール手袋 ■ゴーグル（眼鏡） ■キャンプ用テント ■パーティションの代わりになるもの ■上履き など

※感染症対策用物資は、避難所でも備蓄していますが、数に限りがあるため、各自で持参をお願いします。



今のうちに、自宅が安全かどうかを確認しましょう！



ハザードマップ等

確認する内容は？

1

ハザードマップや自主防災マップなどで、自分の家がどこにあるか確認しましょう。

2

自宅付近に災害のリスクはありますか？
避難の必要性を確認しましょう。



災害発生の恐れがあるときは

避難先選定フローチャート

スタート！

自宅付近に災害のリスクがない。
又は、あっても影響が極めて低い。

はい

避難先：在宅避難

自宅が安全な方は避難の必要はありません。避難する方がかえって危険な場合があります。屋内で安全を確保しましょう。危険を感じたら自宅内で2階などへの垂直避難を。

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

避難先：親戚、知人宅

安全な親戚や知人宅に避難しましょう。日頃から避難について相談しておきましょう。

いいえ

地域で避難先の取り決めがある。
安全な自主避難場所に避難できる。

はい

避難先：地域の自主避難場所・

取り決めにある避難先など

密集・密接を避けつつ、身近で小規模なコミュニティ内に滞在できる避難場所を活用しましょう。

いいえ

避難先：指定緊急避難場所/避難所 または追加開設避難所

3密回避や感染症対策に配慮した運営を行います。避難が必要なときは、迷わず避難しましょう。従来より避難者の間隔を広めにとるため、別の指定緊急避難場所に移ってもらったり、高等学校などの施設を追加避難所として開設する場合があります。

できるだけ3密を避けたい方

避難先：車中泊避難

エコノミークラス症候群^{*}対策など体調管理に留意が必要です。日ごろから車中泊を快適に行えるためのグッズを備えておきましょう。

※窮屈な場所に長時間同じ姿勢でいることで、血の流れが悪くなり、血管の中に血の塊ができて肺の血管を詰まらせてしまう病気